

2020年5月18日

各位

カナダ子会社における新型コロナウイルス感染症への取組みについて
—VLP ワクチン非臨床試験の中間結果発表—

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：上野 裕明）は、連結子会社であるメディカゴ社（本社：カナダ ケベック市、代表取締役：ブルース クラーク）が、同社において開発を進めている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防をめざした植物由来のウイルス様粒子（VLP*）ワクチンの非臨床試験の中間結果において、良好な結果が得られた旨、発表しましたので、お知らせします。

メディカゴ社では、引き続き、安全性と有効性に関する非臨床試験を実施した上で、2020年8月までにヒトでの臨床試験を開始するため、当局機関との協議を進めます。順調に進んだ場合、臨床試験は2021年11月に終了する予定です。

当社グループは、COVID-19の感染予防にむけて、先行して本ワクチンの開発を進めているカナダのみならず、日本においても供給できるように推進していきます。

* VLP=Virus Like Particle（ウイルス様粒子）

▪ メディカゴ社リリース（現地時間2020年5月14日付）

Medicago announces positive results in animal trials for its vaccine candidate against COVID-19

田辺三菱製薬株式会社 広報部

（お問合せ先） 報道関係者の皆様

TEL：06-6205-5119